

署内意見発表会を開催

令和3年2月17日（水）、消防本部多目的室にて署内意見発表会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三密を避け、マスクの着用、衝立を設置しての開催となりました。

各署所の代表者6名が日々の職務を通じて体験したことについての教訓や抱負、提案等の発表を行いました。

この意見発表会は4月6日に平戸市で開催される第44回長崎県下消防職員意見発表会の選考を兼ねており、選考の結果、立石消防士が出場することに決定しました。

立石消防士は、コロナ禍で生活環境が変化していくなか、消防も業務を変化、改善していく必要があると考え、立入検査や救急法指導などの業務のリモート化を訴えた。リモート化により人との接触を減らすだけでなく、同時に複数の事業所への指導が可能になるなど、多くの利点があると発表した。

